

2024年6月5日

各位

ENEOS株式会社  
一般社団法人 わかやま森林と緑の公社**和歌山県における「森林を活用した脱炭素社会の実現」に向けた  
連携協定の締結について**

ENEOS株式会社（以下「ENEOS」）および一般社団法人 わかやま森林と緑の公社（以下「わかやま森林と緑の公社」）は、森林を活用した脱炭素社会の実現に向けた連携協定（以下「本協定」）を締結しましたのでお知らせいたします。

本協定において、両者は、わかやま森林と緑の公社が管理する全ての森林を対象とする森林由来のJ-クレジット<sup>※1</sup>を創出・活用します。ENEOSは、創出されたクレジットを和歌山県をはじめとする事業活動におけるCO<sub>2</sub>排出量のオフセットに活用します。また、わかやま森林と緑の公社は、クレジット売却益を森林整備の費用に充て、森林の持つCO<sub>2</sub>吸収能力の長期的な維持を目指します。



ENEOSグループは、Scope 1、2<sup>※2</sup>のCO<sub>2</sub>排出量を2030年度までに2013年度対比46%削減するという目標の達成に向けて、森林由来のJ-クレジットを創出し活用する取り組みを推進することで、「エネルギー・素材の安定供給」と「カーボンニュートラル社会の実現」との両立に向けて挑戦しています。今後も地域のみなさまとともに森林由来のクレジット創出から活用までの取り組みを全国に展開し、適切な森林管理を通じた国内の森林資源の保全を推進します。

わかやま森林と緑の公社は、これまで育成してきた森林を活用して脱炭素社会の実現に貢献するとともに、クレジットの売却益だけでなく、クレジット創出の過程で得られた様々な知見を持続的な森林経営に最大限活用し、水源かん養<sup>※3</sup>、山地災害の防止、生態系の保全といった森林の持つ多面的機能の長期的な維持を目指します。

今後も、両社は、社会課題の解決に向けて協業し、脱炭素・循環型社会の形成に貢献してまいります。

以上

※1 J-クレジットとは、省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO<sub>2</sub>等の温室効果ガスの排出削減量や、適切な森林管理によるCO<sub>2</sub>等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度。本リリースでは、適切な森林管理によるクレジットを、森林由来のJ-クレジットと称する。

※2 Scope 1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出（燃料の燃焼、工業プロセス）  
Scope 2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

※3 森林が持つ、雨水の貯留による河川水量の平準化や雨水の浄化作用のこと。



協定を締結するわかやま森林と緑の公社 下 理事長（左）、ENEOS 志賀 常務執行役員（右）



わかやま森林と緑の公社が管理する森林(日高郡由良町、中央のスギ・ヒノキ林)

<森林由来のJ-クレジットプロジェクトの概要（申請予定）>

1. 対象森林	分収造林契約森林（約3,000ha）
2. 認証対象期間	10年間
3. 森林区分	育成林、天然生林
4. CO2吸収量	約1万トン/年規模

<本件に関するお問い合わせ先（報道機関の方）>

ENEOS株式会社 広報部メディアリレーショングループ 03-6257-7150

一般社団法人 わかやま森林と緑の公社 森林管理課 0736-67-6139